

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

最初のISS構成要素打上げから1481日経過しました
第6次長期滞在クルーのISS滞在は14日経過しました

スペースシャトル・エンデバー号、着陸

第5次長期滞在クルーを乗せたスペースシャトル・エンデバー号は日本時間12月8日（日）にアメリカ・フロリダ州ケネディ宇宙センターに着陸しました。この飛行では、ISSの太陽電池パネルなどを取り付けるための背骨となる大事な構造物、P1（ピーワン）トラスが無事にISSへ取り付けられました。ミッション内容や経過に関する詳しい情報は下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/11a/index.html>



©NASA



©NASA

エンデバー号の着陸
(日本時間12月8日)

帰還した第5次長期滞在クルー

ISS動向

ISS滞在開始から2週間が過ぎようとしている第6次長期滞在クルーは、化学工業などで使用する触媒であるゼオライトの結晶成長実験などの科学実験を本格的に開始しました。

これからの予定（米国時間）

- ・2月2日 プログレス補給船打上げ
- ・3月1日 スペースシャトル・アトランティス号打上げ（アメリカ）
(野口宇宙飛行士搭乗、船外活動でISSの姿勢制御装置を交換)



©NASA

ISSのペティ宇宙飛行士（第6次クルー）

野口宇宙飛行士が搭乗するスペースシャトル／ISS組立てミッション

米国時間3月1日打上げ予定のアトランティス号には宇宙開発事業団（NASA）の野口宇宙飛行士が搭乗します。

野口宇宙飛行士は3回の船外活動を行う予定で、米国ジョンソン宇宙センター、ケネディ宇宙センターにて訓練中です。

訓練状況やミッション内容については下記URLをご覧下さい。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/ulf1/index.html>



©NASA

STS-114シャトルクルー
(左端が野口宇宙飛行士)

“トピック”

STS-107打上げに向けてスペースシャトル・コロンビア号、射点へ移動

米国時間12月9日、コロンビア号は来年1月16日の打上げに向けて射点へ移動しました。この後、射点での整備作業が行われます。

NASAはSTS-107ミッションにおいてコロンビア号に搭載されるタンパク質結晶成長実験装置を利用して行う実験に参加します。この実験には、公募により選定された科学研究テーマ・先導的応用化テーマ、NASA技術検証実験、高校生を対象とした実験があります。

また、向井宇宙飛行士が地上の管制センターにて宇宙実験運用にかかる統括補佐を行うとともに、副ミッションサイエンティストとして実験を提案した代表研究者たちのとりまとめ支援を行う予定です。

ミッション内容や選定テーマに関する情報は下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/shuttle/sts107/index.html>



©NASA

射点（奥に見える建物）に
移動するコロンビア号